

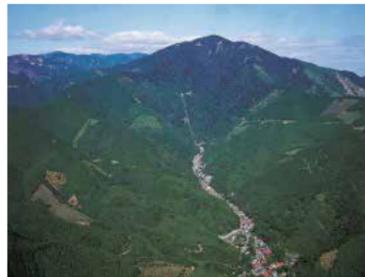
県議会一般質問より

本会議で一般質問に立ちました。言いたいこと、知事の考えを聞きたいこと、山ほどあって持ち時間では到底語りつくせませんが、今回は新春ですので明るい話題を二つ、観光政策について取り上げた質問からご紹介いたします。



① 富士の世界遺産登録と大山について

富士は古くから続く庶民の信仰の対象としての文化的価値がみとめられ世界遺産となりました。全国の人々が富士講という講中を組んで霊峰富士へお参りをした歴史がありますが、それ以上にいにしえの人々の信仰を集めていたのが大山。大山講は江戸の人々にとって親しみ深いもので海老名市内にも幾筋もの大山道がその歴史を物語っています。そしてその大山に祀られているのは、神話の世界にも登場する「オオヤマツミ」という神様。その神様の娘にあたるのが富士山に祀られる「コノハナノサクヤヒメ」。つまり大山と富士は信仰という点で親子の関係にあり、江戸時代の人々は大山と富士の双方をお参りし、片方だけ参ることを片参りと言って避けたそうです。本来ならば富士の世界遺産登録は大山も一体であるべきでしたが、今後は富士と一体で神奈川の観光拠点として育てて行くべきではないでしょうか。



② 日本酒を世界に発信する酒蔵めぐりを

和食が世界文化遺産に登録されるなど、今や日本の食文化は世界の人々が認めるもの。日本酒もまたその一つです。実はあまり知られていないことですが、神奈川には13もの造り酒屋があり、古くから丹沢の名水を利用して上質な日本酒が造られてきました。中には原料となる米（山田錦）を全て地元の農家が栽培している海老名の泉橋酒造。酒蔵にすばらしいレストランを併設している茅ヶ崎の熊沢酒造。酒の熟成過程でモーザルトの音楽を聞かせて味わいを豊かにするという取り組みで知られる秦野の金井酒造など、魅力的な酒蔵がたくさんあります。フランスにはワインセラメーグリーがあるように、圏央道で交通アクセスが向上する私たち神奈川でも酒蔵めぐりのツアーを企画して世界にその魅力を発信したらどうでしょうか。



どちらも「ではすぐに取り組みましょう。」という答えを得られる質問ではありませんでしたが、その後大山が人気番組「アド街ック天国」で取り上げられるなど徐々に注目は増えています。なによりも県行政には私たちの足もとにこそ多くの魅力があることを理解してもらえたのではないかと思います。



毎日更新！おさだ進治のブログ

Web1 <http://osadashinji.sblo.jp>

解りやすく県政をご紹介！おさだ進治公式サイト

Web2 <http://osadashinji.com>

どちらも「おさだ進治」で してください。電子メールは osada@osadashinji.com まで！

アクティブ VOL.27

ACTIVE

発行

おさだ進治事務所
海老名市大谷北 1-5-27
Tel: 046-236-0505
Fax: 046-236-0508
osada@osadashinji.com



2014年1月20日



神奈川県議会議員
<http://osadashinji.com>

おさだ進治

命のとりで「県立がんセンター完全リニューアル」



昭和38年の開院以来、がん治療の拠点病院として県民の皆様の命を守ってきた「県立がんセンター」（二俣川）は全ての建て替え工事を終え、昨年11月2日より我が国でも先端を行くがん治療専門病院としてリニューアルオープン致しました。（詳しくは2・3面にて）

ごあいさつ

みなさんこんにちは、おさだ進治です。平成26年の新春を健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。「今でしょ!」「じえじえじえ」「おもてなし」「倍返し」印象的な4つもの流行語に彩られた平成25年が暮れ、今年はどうなるのでしょうか？6月には永年待ち望んだ圏央道の相模原愛川IC～高尾山IC間が開通し、私たちの海老名から中央高速道路までわずか20分でつなぎ、更に関越道などへつながる高速道路網が出来上がります。その一方、新年度からの消費税の増税で私たちの生活は厳しさを増します。

二度目の安倍政権誕生から一年あまり、アベノミクスによる経済成長をしっかりと軌道に乗せ、当面は6年後の東京オリンピックに向けて、改めて夢の持てる国を作り上げていかなければなりません。おかげさまでご心配頂きました甘利大臣も順調に回復し、今まで以上に精力的に公務に取り組んでいらっしゃいます。ゲリラ豪雨対策などの災害対策、保育所待機児童の解消、海老名養護学校の開校、救急医療の確保、農業支援などなど・・・山積する県政の諸課題に私もしっかりと取り組んでまいります。



初詣客でにぎわう高尾山。圏央道の開通により海老名ICから高尾山ICまではわずか15分で行ける事になります。

生まれ変わった神奈川県立がんセンター

そのポイントとは・・・？

① 外来待ち時間を短くし、待機患者を減らします。

① 新しく建設された建物には外来診察室 56 室が設けられました。これまでの 32 室に比べより多くの外来患者の皆さんを診察することができ、診察を待たせることの無いようにします。

(注) がんセンターの外来は他の病院からの紹介が必要です。紹介状をご用意の上、電話で受診日を予約してください。

② 外来化学療法室のベッドを 24 床から 50 床に増やし、より多くの患者さんに対応すると同時に治療中はテレビや映画を観ながら過ごせるなど、より快適性のある環境を整備しました。

③ 何週間も手術の順番が来るのを待つのは患者さんにとって辛いもの。新がんセンターでは手術室を 6 室から 12 室に増やし、手術待ちの時間を短縮します。



② 高度、最新のがん医療を進めます。

① 最新の放射線治療装置 (リニアック) を 2 台から 4 台に増やしました。

② 内視鏡室を 4 室から 6 室に増やしました。



③ 入院中の療養環境を改善します。

① 大部屋の病室は面積を変えずに、従来の 6 人部屋から 4 人部屋にし、ゆとりある空間を確保しました。

② シャワーやトイレを完備した個室を、68 室から 119 室に増やしました。

③ 病棟に食事や歓談ができるデイルームを整備しました。



④ 患者に優しく質の高い医療を提供します。

① 「患者支援センター」を設置して、会計や、入退院・検査予約、相談等の窓口を一元化しました。

② 患者さん向けの情報コーナーを設置しました。

⑤ 利用者サービスを向上します。

① コンビニ、カフェ、レストラン、美容室を整備しました。

⑥ 平成 26 年 4 月に、漢方サポートセンター、がんワクチンセンターを設置します。

① 漢方サポートセンターでは、週 4 回の専門外来の実施や、漢方医療に関する相談対応などを行い、がん患者向けの漢方医療を充実させます。

② がんワクチンセンターでは、手術、放射線治療、化学療法に続く「第 4 の治療法」として注目されている「がんペプチドワクチン療法」に関する基礎研究や臨床研究に取り組みます。

⑦ 重粒子線治療施設 (i-ROCK) を設置します。

重粒子線治療とは放射線治療のひとつで、重粒子線 (炭素イオン) をがん病巣に狙いを定めて効果的に照射しダメージを与える治療法です。副作用が少なく、従来の治療法では直りにくいがんに対する効果が期待されています。全国で 5 番目の施設となり、平成 27 年 12 月に治療を開始するため現在建物を建設中です。

県立がんセンターはがん治療を行なう県内の病院の「がん診療連 (携) 拠点病院」として、地域のかかりつけ医師に対する研修、患者さんの痛みや苦痛を和らげる緩和ケアの提供、より専門性の高い医師の配置や、症例の少ない「まれながん」治療の実施と情報提供など、神奈川県全体のがん治療をリードする病院として様々な取り組みを行なっています。



この人紹介

海老名で活躍する方々をご紹介するコーナーです。今回は今里で一流アンティーク家具の製造販売を行なうノックオンウッド代表の戸山 顕司さんです。

海老名が世界に誇るアンティーク塗装職人 戸山家具製作所 戸山 顕司さん



ノックオンウッド海老名
海老名市今里 3-25-41
tel: 046-292-3511

明治 5 年創業の老舗の五代目名跡を継ぐ

西洋家具発祥の地・横浜にアメリカ船が来訪した際に、日本で初めて椅子を製作した古家製作所の「古家豊吉五代目」を継承し伝統を今も引き継ぐ名匠。1967 年には神奈川県室内コンクールで優秀賞を獲得し、以後横浜大手百貨店やプライベートブランド、横浜クラシック家具でロングセラーを続けるも、顧客ニーズの変化で百貨店より撤退、自社ブランド「Knockonwood」で直販営業を始める。

「良い家具とは使用した人の人生とともに歩んできた絵を書き込んできたキャンバスのようなもの」と戸山さんは言う。安かろう悪かろうの使い捨てではなく、生活とともにふるびたものを修理しながら長く共に歩む家具づくりを目指す。一般的に家具製造業の経営者は木工技術者出身が多い中、戸山さんは塗装を専門とし、海外からも技術を学びに弟子入りする人も。氏自身も頻りに国際交流を持ち、今なお技術を磨き続けるパワフルな 70 歳。

戸山家具製作所代表取締役、県産業総合研究所技術アドバイザー、県家具共同組合理事、職業能力開発協会検定問題作成委員、県能力開発協会技能検定委員、職業能力開発大学校非常勤講師、ものづくり大学非常勤講師、技能五輪審査委員、木材塗装研究会会長